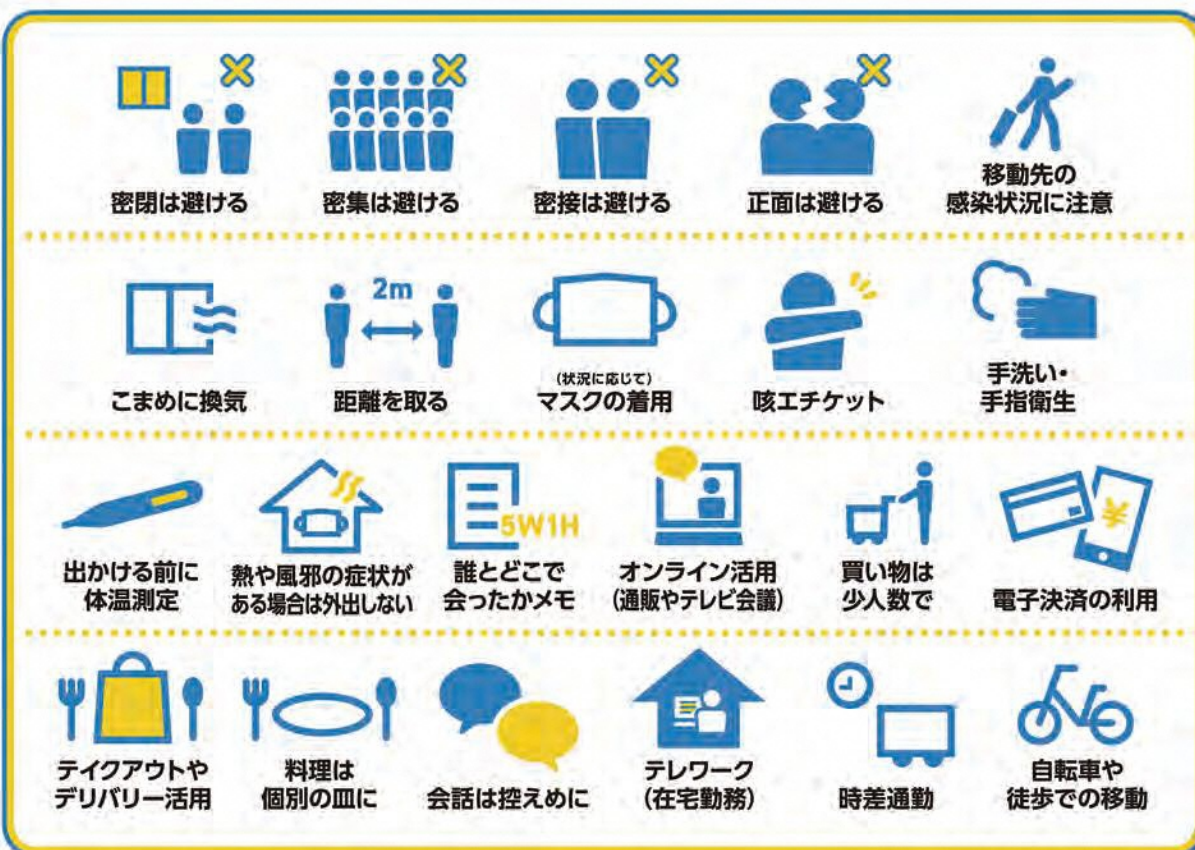


新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために

新しい生活様式

の定着に、ご協力をお願いします。



新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐためには、今後も長い期間の対策が必要です。そのため、私たち一人一人がこれまでの日常生活の行動を変え、上記実践例を参考に「新しい生活様式」を定着させていくことが大切です。

福島県

新しい生活様式 福島県 | Q



みなみそうま 市議会だより

発行：南相馬市議会 編集：広報特別委員会 ☎24-5311

令和2年
11月1日発行
Vol.59

【目次】

南相馬市の新型コロナウイルス感染症 対策事業 その2	2～3頁
9月定例会の審査、 議員・委員会提出議案、陳情	4～5頁
賛否が分かれた審査 一般質問	6～7頁
常任委員会閉会中調査、3か月間の議会活動	8～12頁
議員研修会、議員間討議、 議会における新型コロナウイルス感染症対策	13頁
12月定例会の日程、議会傍聴記、編集後記	14～15頁

相馬野馬迫 甲冑展

南相馬市の新型コロナウイルス感染症対策事業 その2

新型コロナウイルス感染症への対応として、7月31日に臨時議会が開催。さらに9月定例会が9月2日から17日までの16日間開催され、合わせて条例関係9件、予算関係7件、その他4件、議員提出議案1件、委員会提出議案1件の議案22件、報告2件を審議し、原案通り可決しました。今回は第58号に引き続き新型コロナ対策の事業を特集します。

一般会計の予算規模

6月定例会以降、補正予算2億7,259万円を追加し、9月補正後の一般会計歳入歳出総額が660億7,252万円となった。(新型コロナ対策以外の事業費含む)

660億7,252万円
(2億7,259万円増)

感染症対策

国の第2次補正予算において、令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業が創設されたことにより、対象施設に感染症対策に要する費用に補助金を交付する。

1施設…50万円以内
対象経費…マスク、消毒液、感染防止用備品、研修受講費など



○放課後児童健全育成事業

対象施設…小高合同児童クラブ、高平児童クラブほか17施設

○中学校管理運営事業

対象施設…市内中学校6校

○新型コロナウイルス感染症対策事業(幼稚園)

対象施設…大甕幼稚園ほか3施設

○子育て支援センター管理運営事業

対象施設…原町子育て支援センターほか1施設

○新型コロナウイルス感染症対策事業(保育園等)

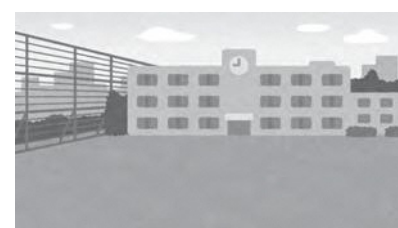
対象施設…北町保育所、かしま保育園ほか13施設

○一時預かり事業

対象施設…原町あずま保育園ほか2施設

○小学校管理運営事業

対象施設…市内小学校12校



感染症対策

○テレワーク環境整備事業

560万円
職員の在宅勤務を可能とするため、テレワーク環境を整備する。



○発熱等トリージ外来開設事業

648万円
仮設診療施設の設置期間の延長に伴う運営経費等の増額。

○介護慰労金給付事業(高松ホーム)

180万円
介護サービスの継続に努めている職員等に対し慰労金を支給する。

対象者…令和2年2月14日～6月30日の間に、介護サービス事業所等で通算10日以上勤務した高松ホーム職員等

給付金額…1人当たり5万円

対象者数…36人

※各施設が直接県に申請するため、市の施設である高松ホームのみが予算計上されている。



○小学校管理運営事業

56万円
新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休校・自由登校時に導入した携帯電話の通話料等の経費を増額。

○中学校管理運営事業

23万円
新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休校・自由登校時に導入した携帯電話の通話料等の経費を増額。

市民向け対策

○花火打ち上げ事業

938万円
市民の皆様を励ますとともに、エッセンシャルワーカーの皆様に感謝の意を表すため、また、子どもたちの夏の思い出づくりのため、花火の打ち上げを行う市内各団体に補助金を交付する。



○修学旅行キャンセル料等対策事業

520万円
新型コロナウイルス感染症の影響による修学旅行の中止や行程変更等に伴い発生するキャンセル料等の追加的費用を市が負担する。

○敬老記念品等支給事業

4千617万円
敬老会の開催が困難な状況にあることから、75歳以上となる高齢者に商品券及び記念品を贈呈する。

○消費喚起応援事業

1億2千716万円
事業主体…南相馬市消費喚起応援事業実行委員会(小高商工会、鹿島商工会、原町商工会議所及び原町商店連合会)

「消費喚起抽選事業」

令和2年10月1日から11月30日
1回に一定額以上の買物をした際に1枚渡される専用はがきで応募いただき、抽選で総額3千万円分の景品を贈呈。

「ダブルチャンス商品券事業」

令和2年12月上旬から令和3年2月28日
消費喚起抽選事業の抽選から漏れた方の中から市内小売店で利用できる総額7千万円分の商品券を贈呈。

○基盤技術産業高度化支援事業補助金

4千205万円
試作品等開発の取り組みに対し、補助金を交付する。補正内容…申請件数増による補助金の増額 8件↓15件。

事業者向け対策

○商工業者支援事業補助金

5千万円
商工会及び商工会議所に対し補助金を交付する。事業主体…小高・鹿島商工会(上限1千万円)、原町商工会議所(上限3千万円)

補助対象事業…①商工業者等への金融支援等を含む事業継続や雇用維持等に関する事業、②「新しい生活様式」を踏まえた地域経済の活性化等に関する事業

令和2年10月1日から11月30日
1回に一定額以上の買物をした際に1枚渡される専用はがきで応募いただき、抽選で総額3千万円分の景品を贈呈。

令和2年9月定例会の審査

条例審査

○南相馬市弔慰に関する条例制定について

【概要】

自治功労者・職員等が逝去したときに市が行う弔慰に、調査委員会が報告の提出があった6月である。

【質疑】

条例案の検討を始めた時期はいつなのか伺う。

【答弁】

検討を始めたのは、調査委員会の報告の提出があった6月である。

【質疑】

東日本大震災で犠牲になられたお二人もいるなか、市葬対応で市長、議長に対して市民からの受止めについて伺う。

【答弁】

市民の意見を聞くために、パブリックコメントを実施しており、修正すべき点を修正して提案した。審査の結果、原案の通り可決。

予算審査

一般会計予算

○総務管理一般経費

50万円

令和元年東日本台風に係る災害対応業務にあたり死亡した職員に弔慰金を支給する。

【質疑】

昨年の10月に発生していることから、弔慰する思いであれば一刻も早く遺族へ届けるべきだが、なぜ今回の9月議会なのか伺う。

【答弁】

調査委員会の報告書の内容を確認したうえで、対応する事とした。



令和元年東日本台風の被害状況

○鳥獣被害防止緊急対策事業
1千582万円

大規模侵入防止柵設置事業及び電気柵無償貸与事業において、当初の見込みより申請が増えたことによる増額。

【質疑】

山から海につながる丘陵地帯を伝い市街地まで入り込み、被害は農業だけでなく宅地や道路にも及んでいる。抜本的な対策が必要では。

【答弁】

電気柵や大規模侵入防止柵などで全て防ぐことは効率的ではない。昨年、市で実施したドローン等を使い山から道のほうに出てくる頻度の高いところにかメラを設置し、効果的に罠を仕掛けることによって捕獲効率を上げていく取り組みも行っており、そのような実証も行いながら効果的な対策を考えていきたい。

○基盤技術産業高度化支援事業補助金
4千205万円

試作品等開発の取り組みに対し、補助金を交付する。申請件数増による補助金の増額 件数見込8件↓15件。

【質疑】

試作品を作った企業と地元企業との連結は。

【答弁】

この中で地元で事務所を構えているのが7社。こちらにおいては、自社の中で新たな製品の開発に取り組んでいる。加えて、ロボット関係で、アームであれば市内の企業といった事業の連携が出てきている状況。

【質疑】

試作品開発に取り組み、実際に商品化しているものがあるか。

【答弁】

令和元年度は全部で8件の基盤技術産業高度化補助金の申請があり、そのうち、6件が既に実用化されている。

○公立学校適正化推進事業
850万円

小高区内の4つの小学校の統合に伴い、閉校記念事業を行う実行委員会に補助金を交付する。

【質疑】

閉校式典における新型コロナウイルスの関係について、体育館に300人は状況がよくなって平時であれば問題ないと思うが、場合によっては入場制限をかけるような検討で進んでいるのか伺う。

【答弁】

現時点で開催時の感染症の影響については想定できないが、参加者は招待者も含めて250人から300人を想定している。小高区の歴史ある小学校を閉校するに当たり、小高区の方々に



南相馬市立小高小学校

参加いただき、閉校記念式典を行いたい。また、高交流センターをパブリックビューイングの会場とするなど、画像だけが、さまざまな方が参加できるように式典を検討している。審査の結果、原案の通り可決。

その他

○令和2年度南相馬市病院事業会計補正予算について

【概要】

新型コロナウイルス感染症の影響及び常勤医不在による収入の減額。並びに新型コロナウイルス感染症対策に係る費用の増額。

【質疑】

病院経営を圧迫している要因の一つが新型コロナウイルスの対応であり、一方で、入院、外来の業務量の減少については受診控えだけではなく、医療の提供体制側の問題があり、課題を分けて整理をして、今後の取組にあたる必要があるのではないか。

【答弁】

経営圧迫の要因に

委員会・議員提出議案

○議員提出議案 第2号

新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急対応を求める意見書の提出について

【提案内容】

国に対して以下6点について強く求めるもの。
①専門家委員会などの意見を踏まえ、感染拡大の状況を分析し中長期的な見通しを早急に示すこと。

②国は、国民の不安を払拭

すべく具体的な感染防止策を示し、早急に対応策に取り組むこと。
③国の責任において、PCR検査については、「誰でも、いつでも、何度でも」できる検査体制の充実・強化を図ること。

④さらなる感染拡大防止策として事業者へ営業自粛を求める場合は、十分な補償を行うこと。

⑤早期のワクチン開発に努め、世界各国と連携しワクチンの確保を行うこと。

⑥新型コロナウイルスへの

対応に追われている地方自治体の財政措置を十分に行うこと。

審査の結果、原案の通り可決。

○委員会提出議案 第7号

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所災害の被災者に対する各種支援の継続と対象者の拡大を求める意見書の提出について

【提案内容】

国に対して以下4点について強く求めるもの。
①令和2年度中に期限を迎える国民健康保険税・介護保険料の減免及び医療費・介護保険の一部負担金等の免除について、その期限を延長すること。

②令和2年度末で期限を迎える高速道路無料措置を継続すること。

③地方税法による固定資産税の減額課税措置を継続することと併せ、市条例による固定資産税の税負担の軽減に伴う減収分についても、震災復興特別交付税を継続して交付す

令和2年7・9月議会で意見が分かれた議案

議案等の名称		議員名	議決結果	友 和 会					改革クラブ					高友会				市政会		日本共産党 議団員		無党派	無党派
				大場裕司	菊地洋一	中川正一	田中廣	今村裕	田中京子	渡部一夫	鈴木貞正	竹野光雄	小川高一	高橋真貴	大岩常男	太田淳一	平田武	山田雅彦	岡崎典義	鈴木昌一	栗村文夫	栗村貴一	大杉一
7月臨時議会	議決案	令和2年度南相馬市一般会計補正予算に対する修正案について	否	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
	市議案	令和2年度南相馬市一般会計補正予算について	可	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月定例会	市議案	南相馬市弔慰に関する条例制定について	可	○	○	欠	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	市議案	令和2年10月1日から令和2年12月31日までの間における市長の給料の減額に関する条例制定について	可	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
9月定例会	議決案	令和2年度南相馬市一般会計補正予算に対する修正案について	否	×	×	欠	×	×	議	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×
	市議案	令和2年度南相馬市一般会計補正予算について	可	○	○	欠	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

○ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり
○ 採決の結果欄の意味はそれぞれ次のとおり

令和2年7・9月議会で賛否が分かれた審査

令和2年度南相馬市一般会計補正予算に対する修正案
提出者・岡崎義典議員

【概要】

歳出7款商工費の中で「火打ち上げ事業」938万円を皆減。あわせて歳入18款繰入金のうち財政調整基金繰入金についても同額の938万円を減額するもの。

【提案理由】

花火を打ち上げて、市民に元気を与えたい。そのことを否定するものではない。しかし、極端に情報提供を遅らせて密を作らないようにした場合、多くの市民が見ることができず、事業実施の効果が薄い。感染防止策を施した上で、市民に周知をし実施することが望ましい姿であり、今回見送った上で、事業を再構築し改めて予算計上するなり、万全の体制で行うことが妥当と考える。そうした周知をして実施することが困難であれば、事業を実施すべきでない。

反対討論



志賀 稔宗 議員
質疑を
通して事
業の内容
が少しず

つ柔軟に見直されたことによ

り、事業実施当日の朝に市民周知するのではなく、議会で出された意見を踏まえた上で周知の在り方や事業内容が構築されるものと信頼して修正案に反対し原案に賛成する。

賛成討論



渡部 一夫 議員
花火打
ち上げそ
のものに
反対では
ありません。しかし、事業内容「感染症の早期収束と本市の元気な姿を発信する」に見られる通り、「新型コロナウイルス」による影響を懸念していることの表れと受け止めますが、花火打ち上げで全てが解決するとは考えられず、市民が置かれている生活を直視するとともに、一つ一つ課題解決に向け、「地に足の着いた」取り組みを行うべきと考え、一度取り下げ、改めて提起すべきことから、「修正案に賛成し、原案に反対」する。

採決の結果、賛成少数により不採択と決した。

南相馬市弔慰に関する条例制定について

【概要】

自治功労者・職員等が逝去したときに市が行う弔慰に關し必要な事項を定めるため、新たに条例を制定するもの。

反対討論



小川 尚一 議員
災害で
公務死亡
された職
員への感
謝と弔意を表すとのことだが、更に功労者として市長や議長まで付け加え対面を取り作つたという感がぬぐえない。また、昨年の公務災害での死亡職員には、週及しないのは、本来の目的がなくなっている。更に市葬等審査委員会を通すとはいえ、市長の判断で選定されるのは、市長の思いだけで選ばれ明確な基準がない。ましてや市葬に税金を投入するのは、市民への説明責任ができないものであり反対する。



渡部 一夫 議員
条例で
は対象者
「市の自
治に対し
功績が特に顕著であると認め
る者」として「現に市長又は

る者」として「現に市長又は

議長の職にある者、8年以上市長又は議長の職にあった者」とあるが、「人は何に就いたかたかではなく、何を成したか」である。その人の功績は「第三者（市葬等審査委員会）」で審議されるべきである。従って、対象者（①現に市長又は議長の職にある者、②8年以上市長又は議長の職にあった者）を削除する等、市民の皆様が理解し納得するものにす

賛成討論



太田 淳一 議員
本年1
月から他
自治体の
事例の情
報収集を行っており、パブリックコメントに寄せられた意見を十分検討し総合的に判断し条例制定に至っている。また、対象者は消防団員、民生委員、区長、災害業務に従事した市民も対象となり、市葬弔慰金の支給については、市葬等審査委員会が審議し判断することから、公平公正が保たれるものであり賛成する。



平田 武 議員
職員の
公務災害
を受けて、
為政者と

為政者と

令和2年10月1日から令和2年12月31日までの間における市長の給料の減額に関する条例制定について

【概要】

令和元年東日本台風風の災害対応に当たっていた職員が帰宅途中に被災し、尊い生命を失ったことを重く受け止め、市長の給料月額額の1、10を減額するため、新たに条例を制定するもの。

反対討論



小川 尚一 議員
災害対
応に当た
った職員
の尊い生

命を失ったことを重く受け止めての提案とのことだが、死亡から凡そ1年が経過する今になっての対応は、遅きにするもので遺族に対する誠意が感じられない。答弁で、遺族のためではない。様々な部分を含めた結果責任としてあげるものとした。との発言は、遺族の思いを逆なでするものである。

敢えて市長給与の削減をすることは、パフォーマンスとして受け止められず、上程に値しないので反対する。



渡部 一夫 議員
この間
の報道「
概略の報
告を受け、

明らかな過失はないと理解しているとの市長発言」及び調査委員会の答申「帰宅させた市の判断が事故を招いたとまでは認められない」を受けて、遺族の「災害対応に従事し被災した」ことへの受け止めは、「大雨が降る夜道を帰宅させなければよかったのに」等、遺

賛成討論



太田 淳一 議員
市役所
の最高責
任者とし
て、部下

が亡くなったことに対し責任を感じ、市長の思いとして減額をするのであれば、その思いを尊重し賛成する。



平田 武 議員
令和1
年10月の
東日本台
風におい

て、職員が帰宅途中において被災され、命を失った事を重く受け止め調査委員会の答申も示され、その内容も踏まえて、為政者としての意を表したものと受け止めて本案に賛成の討論する。

採決の結果、原案の通り可決と決した。

賛成討論



岡崎 義典 議員
弔慰に
関する条
例が今回
提案さ

れたが、素案では施行日を令和元年10月13日まで遡る予定

賛否が分かれた審査

反対討論



太田 淳一 議員
提案理
由の一つ
として議
会軽視で

あるということだが、本議会に議案として提案され議会で審議されていることから、修正案に反対する。



志賀 稔宗 議員
体を張
って市民
の命と財
産を守る

ために残念ながら犠牲になられた職員に対して、市として慰霊するのは当然の事であり、先に制定された「市葬に関する条例」の精神を踏まえれば予算計上しない方がおかしい。週及が良い悪いの問題ではない。

市民の感謝と弔いの気持ちをしつかり形に表すことであり、市民に十分理解いただける内容。頑張った職員の思いに応える事で誠に妥当と考えることから、修正案に反対し原案に賛成する。

採決の結果、賛成少数により不採択と決した。

一般質問 一問一答



菊地 洋一 議員

問 令和元年東日本台風で、泉地区・大内地区は数日間冠水し、甚大な被害を受けた。市内浸水・冠水箇所に対し市の考えを伺う。

答 水路の堆積物等の撤去及びバリケードの配備等、河川、水門の土砂撤去による流末の確保や、河川の護岸等の改修を行う。また、東北農政局から排水ポンプを借り受け、冠水区域等からの排水体制を整える。市内9か所に土のうを配備し、住宅への浸水対策を実施。

問 冠水災害を回避し、早期復旧のため、機動的に排水作業ができる排水設備が必要と考えるが。

答 東北農政局からポンプを速やかに借り受け、協定する建設業組合等と連携し、ポンプの輸送、設置、稼働に



市民の生命と財産を守る排水作業

問 令和元年台風被害復旧工事の進捗を周知すべきと考えるが。

答 市長メッセージ15号のほか、原町区市政懇談会や鹿島区行政長会連絡会議、小高区行政長連合会理事会において、進捗状況等の説明を行ってきた。今後も引き続き、市民の不安解消を図るべく、市長メッセージや広報紙などを活用する

ついて建設業組合への要請を考える。

災害に強いまちづくりについて

など、積極的な情報発信に努める。

問 市民への周知について。

答 9月15日の市広報に折り込みをする。さらに、早期に、9月15日以降、第2弾として周知することを進めている。

質問を終えて

真に災害に強いまちづくりを実施したい。

その他の質問

①福祉施設の避難対策について

②収入保険等の加入推進について

③市町村を越えた広域的な高付加価値産地構想について

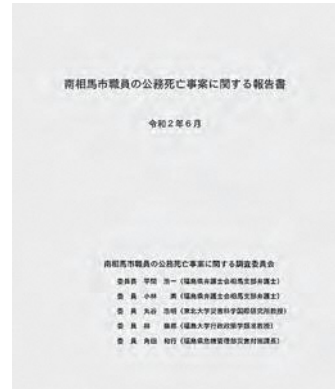


小川 尚一 議員

政策決定のプロセスは

問 昨年の決算審査において、今後行政経営が厳しくなる中で、今年度については例外なく精査し取り組むとの答弁があった。市長公約についても、客観的な視点の意見、所謂市民にとって必要な事業であるかの協議がされているのか伺う。

答 本市の事業決定のプロセスについては、国・県の方針や市復興総合計画などに基づき、また新たに生じた課題に対応するため、



「南相馬市職員の公務死亡事案に関する調査委員会報告書」

情報収集や調査研究を踏まえ、関係課会議の調整で企画立案し、新規で取り組む事業は庁議で実施を決定する。
市職員の公務死亡事案
問 昨年10月豪雨災害において、本市で唯一犠牲となった職員には、心より冥福をお祈り致します。市職員の公務死亡事故の調査報告にある指摘について伺う。

答 市側の問題点の分析で、安全確保の意識において、雨の夜間に一人で自動車を運転することの危険の認識

が高くなかったことが、市側の問題点として指摘されている。この指摘について

質問を終えて

災害対策本部長には、市民と職員の命と財産を守ると意識と的確な判断と指示が重要。

その他の質問

①花火打ち上げ事業の協賛金依頼があったのか

②新型コロナウイルス感染症防止に全市民PCR検査を

③今年度生まれる赤ちゃんに応援定額給付金を

は、正しくその通りと考えている。

問 本来、災害対策本部長の災害に対する認識と命を守る考えが十分でなかったと思うが、その責任について伺う。

答 一段高い次元での安全のための仕組みや意識があれば、防ぐことができたかもしれないという思いがある。

行政経営と市長の責任について

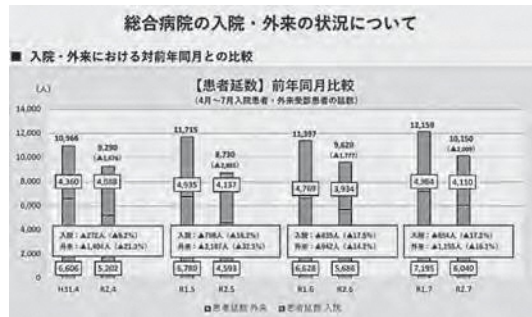


岡崎 義典 議員

問 4月から市立総合病院の整形外科常勤医師が不在となり、減収の原因が新型コロナウイルス感染症なのか、整形外科常勤医師が不在によるものなのか分からないほど。常勤医師獲得の取り組みは。

答 外来診療は県立医科大学などから非常勤医師の派遣を受けることで継続しているものの、手術を伴う入院の対応はできない。整形外科常勤医師の確保が最重要課題であると捉え、県立医科大学や県外の大学、病院への派遣要請、民間医師紹介事業所の活用、ホームページでの医師募集に加え、公益社団法人日本整形外科学会に対して県及び県立医科大学と連携して要請を行っている。

問 震災後急速に高齢



整形外科の常勤医不在の影響は

化が進んだこともあり、整形外科は非常に需要が高い。ましてや回復期リハビリテーション病棟をやろうとしており、そこに整形外科医がいけないのは全くと話にならない。小高診療所の有床化に

しても、回復期リハビリテーションと緩和ケア病棟を稼働して300床にすることにしても、やること決めた以上は集めるしかないわけ

で、頑張つてやりまうとただ言われ続けてもわかりましたとはならない。計画的に医師確保を行っていくことが大事では。

答 整形外科の当病院に対する割合は非常に多いことから、あらゆるチャネルを使い確保に努めていきたい。

質問を終えて

約5億円の一般会計からの補助金・負担金を投じて、なお10億円の赤字となる見込み。

その他の質問

①令和3年度の震災関連事業について

②乳幼児を持つ家族の避難所について

③ペットとの同行避難について



高橋 真 議員

問 市長は上司と部下の関係についてどうあることが望ましいと考えているのか、もしくはどのように心がけているのか伺う。

答 職員自身が復興や市の振興にどういう立場で役に立っているのかという意識を持ち理解することが大事である。一方で震災復興のほか台風やコロナ問題で業務量が多くなっていることを懸念している。体制強化等、何ができるかを考え対応していきたい。

問 東日本大震災の遺児等に対しては支援制度が充実している。他の災害や交通・犯罪遺児等に対しても制度化し、同様の対応をすべきと考えるが？

答 災害や交通事故等で遺児等となった子どもたちへの支援につい

ても、親を亡くした要因によって差が出ないように、自立支援のため事業構築に向け検討していく。

問 健康寿命延伸には高齢者の生きがいづくりが重要だ。現在はコロナ禍で地域の集会、イベント等が中止となり、活動の場がなくなっている。どのような対応や取組が必要だと考えているのか？

答 コロナ禍により休止している週一サロンの活動再開を支援し、高齢者が運動しながら交流する機会の拡充に努めるなど、新しい生活様式を実践しながら、高齢者の健康保持と生きがいづくりの場の確保に取り組んでいきたい。

人口増加に向けた取り組みを



元気な高齢者

質問を終えて

人口減少対策が課題！移住、子育て、高齢者対策等事業をバランスよく行うことが重要。

その他の質問

①職員提案規程の実績について

②コロナ禍対応での今後の課題について

③コロナ禍での経済対策について



大山 弘一 議員

放射線起因が遺伝子 検査で判る!?

市環境回復委員長
の児玉龍彦東大教授
が「内部被ばくで遺伝
子特定部位切断が修復
に伴いがん化。遺伝子
目印でハッキリ分か
る。」と動画で発表し
ている。

ウンタで、子供等の内
部被ばく者確認。学校
体育館などの梁の上の
事故当時のホコリを将
来に向け保存すべき。
調査で保存するか
評価してもらう。

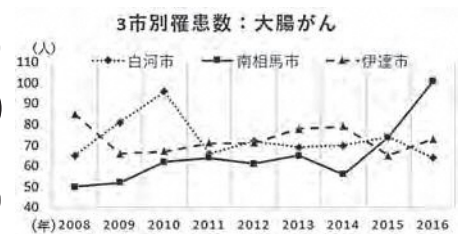
平成28年県がん登
録で男性甲状腺がん罹
患率が事故前の2倍。
公表済市内小児甲状腺
がんが6人。県にがん遺
伝子調査を要請すべき。

市放射線健康対策
委員会と市は、確定指
標になるか解らないの
で現在、考えはない。

吸引リスクのある
土ほこり等の測定を！

環境省は高濃度汚
染土を回収しており、
自家野菜の周辺土壌限
定で新たに始める。

黒い雨訴訟の教訓
から物的証拠の保存が
重要。市のホールBカ



県がん登録市町村別罹患数より

質問を終えて

「がんゲノム医療」が始
まっているのに、なぜ、原
因を調べる遺伝子調査をさ
せないのか理解不能。

その他の質問

- 1 市放射線健康対策委
員会について
- 2 内部被ばく問題につ
いて
- 3 放射性浮遊粒子評価
について



田中 一正 議員

本市将来の人口 減少対策は

本市将来の令和20
年度推計人口が4万1
千103人と聞いているが
対策について伺う。

人口減少を食い止
める方策については早
急に行っていくかなけれ
ばならないと考える。

全国的に人口減少
が進んでいる中で人口
が増えている自治体
がある。自助努力で増や
している自治体の内容
を分析し、本市の人口
増に向けて行動すべき
と考えるが。

人口増の自治体要
因を分析し、施策に反
映することについては
有効な手段と考える。

福島ロボットテス
トフィールドに関する
事業者や国際教育研究
拠点の誘致による研究
者及び学生の移住等
のための人口対策担当課
や各課横断のプロジェクト
チームの立ち上げ



今後の利活用が期待される福島ロボットテストフィールド

質問を終えて

蒔かない種は生えない、
行動を起こすチャンスは今
しかない。

その他の質問

- 1 高倉ダム、横川ダム
の水管理について
- 2 新型コロナウイルス
感染防止にかかる分
散避難について
- 3 教育施設の防災対策
について



栗村 文夫 議員

市街地での 有害鳥獣対策を！

有害鳥獣の生息状
況、変化の傾向を伺う。

ハザードマップの
目撃情報を踏まえると、
農地だけでなく生活圏
にまで広がっている。

ハザードマップに
掲載する情報提供をお
願いますとしていて
が、方法は役所窓口の
みとなっている。方法
を検討する必要がある
と考えるが見解を伺う。

ハザードマップの
存在について市民への
周知を図るとともに、
ファクスや電子メール
等による情報提供の方
法も検討し、情報量の
確保に努めていく。

家庭菜園での被害
が多数発生している
が、その対策について
伺う。

電気柵設置に係る
補助要件の下限面積を
撤廃し、家庭菜園や果
樹等に対しても活用で



ハクビシンの剥製（南相馬市博物館所蔵）

質問を終えて

市内中で有害鳥獣が増
えています。市への積極的な
有害鳥獣の情報提供をお願
いします。

その他の質問

- 1 有害鳥獣による被害
の状況について
- 2 有害鳥獣対策の現状
について



大岩 常男 議員

ごみ集積所の整備 安心環境を

マンションやア
パート等に居住してい
る市民への隣組加入や
行政区加入促進策につ
いて伺う。

所有者や管理者へ
の働きかけ、さらには
市外からの避難者につ
いても、行政区や隣組
の加入促進を図り、ま
た、宅建協会などと集
合住宅への対応、協定
をいたしまして、集合
住宅への対応を図ってま
いると考えてございます。

令和3年度より、
ゴミ集積所整備報奨金
制度の報奨率が以前に
戻ることから、今後の
対応策について伺う。

ごみ集積所整備事
業報奨金制度につきま
しては、来年度からプ
ラスチック製容器包装
を対象とした新たな分
別を始めたという計
画もございしますことか
ら、報奨金制度の特



報奨金制度を活用した集積庫

質問を終えて

ごみ集積所整備事業報奨金制
度の現行延長で、景観や衛生上
安心できる環境づくりを！

その他の質問

- 1 原町区市政懇談会の
要望・回答内容につ
いて
- 2 ごみ集積所の改修・
整備について
- 3 空き家実態調査につ
いて

荒廃空き家の中
に、衛生上も悪く、不
朽した屋根瓦等が落下
し、近隣住宅に多大な
被害や迷惑をかけてい
る状況も見受けられま
す。その対応策につ
いて伺う。

荒廃の状況から今
後の経過観察が必要と
判定されたものが124
件、特定空家候補と判
定されたものが42件あ



渡部 寛一 議員

PCR検査を 誰でもいつでも

問 政府のコロナ対策が自治体まかせになっていることが大問題だ。感染震源地は、そこから全国に感染拡大していく全国の問題です。政府対応が遅いため、各自自治体ではPCR検査の積極的動きが広がっています。市長は社会的検査を自治体任せにせず、国がイニシアチブを発揮すべく強く求めるべきだ。

答 いつでも誰でも検査が受けられることは、対策の一つです。県の市長会を通じて、検査体制のあり方を早急に示すこと、検査試薬を確保すること等、国・県に要望していく。

問 当面、市が先行して対策を急ぐべきです。市の責任で医療、福祉、幼・保園、学校等、集団感染のリスクが高い職員などへの定期的検査を速やかに行うべきではないか。

答 これらの施設の職員を広く検査することは、クラスター対策として重要です。市は、検査体制の充実に取り組んでいきます。

問 感染リスクの高い市民の検査を優先させながらも、希望する全市民を対象に、PCR検査を誰でもいつでも何回でも受けられるようにすべきです。市政の最大の使命



市立病院敷地内の「発熱等トリアージ外来」

- その他の質問
- 1 市民に喜ばれるデマンドタクシーにすべき
 - 2 ナラ枯れの実態と対策は

質問を終えて

市は検査機器を1台手に入れたが、試薬が無い。国・県は何をやっているんだ！

は、市民の命を守ることで。いかがか。
答 国・県の動向を注視し、必要な方が必要などときに検査が受けられるように県に対して求めていく。



渡部 一夫 議員

マイ・タイムラインの 活用について

問 マイ・タイムラインとは、災害が発生する時間に向かって、「いつ」「誰が」「何を」するのかを明確にしておく計画のことであり、「事前の防災行動計画」とも呼ばれている。

一方、住民一人一人が避難行動を事前に整理するマイ・タイムラインの取組みは、2015年9月の関東・東北豪雨をきっかけに始まったと言われている。そこで、本市における取組について伺う。

答 マイ・タイムラインは、風水害の発生に備えて、家族構成や生活環境に合わせ、あらかじめ作成する自分自身の避難計画であり、本市では、福島県が作成した、ふくしまマイ避難ノートを、9月1日号の広報に合わせ、全戸配付している。



～逃げキッドの中身～

質問を終えて

欲張りしすぎているのかもしれないが、時間の制約と質問事項の選択に苦慮している。

まずは、市民の皆さん自らが、このふくしまマイ避難ノートを活用し、自らの命は自らが守るという意識の下で、災害時の避難行動などを事前に確認し、計画していただくよう啓発してまいりたい。

答 国土交通省は、小・中学校向けに分かりやすく作成し、公開している。今後のマイ・タイムラインを通じた防災教育の一助となるよう、教育委員会等関係箇所に対して情報提供してまいりたい。

- その他の質問
- 1 太陽光発電システムについて
 - 2 改正高齢者雇用安定法等について
 - 3 「思いつきは政策ではない」について

常任委員会閉会中調査

総務生活常任委員会

「市内体育施設の 現況調査について」

6月議会において、市民プール更新事業予算が計上されたことから、南相馬市民プールおよび南相馬屋内市民プールに赴き、施設の運営状況、老朽化の現状等について調査を行いました。

南相馬市民プールは、昭和52年3月に竣工し43年が経過しており、各所にひび割れ、機械・塩素タンクの老朽化が進んでいます。また、屋内市民プールは、昭和61年12月に竣工し33年が経過しており、壁の剥離、ボーラーの老朽化が進んでおり、両施設とも耐用年数を大きく超えていることから、市では令和4年度を目途に屋内型プールを計画しています。

文教福祉常任委員会

「鹿島小学校 トイレ状況調査」

鹿島小は児童347人・教職員25人の市内では比較的大きな小学校である。6月議会、トイレの問題が浮き彫りになり、その実態を調査した。

校舎は3階建てであり、各階の東と西にそれぞれ男女別のトイレがある。各階とも、男子用小便器は別として大用は洋式2所、和式1所、女子用は洋式2所、和式3所である。現代において和式は時代遅れであるとともに、絶対数も少ないと判断できる。さらにウォッシュレット付きは無い。教育委員会に改善を質したところ、増設と洋式化を来年度で実施したいとした。

※調査当日は市立中央図書館及び移動図書館の状況も調査した。

建設経済常任委員会

「産業創造 センターに期待」

7月20日(月)、南相馬市産業創造センターについて現況調査を行いました。

産業創造センターは、福島ロボットテストフィールドを活用する事業者に向けた、貸事務所・貸工場として9月に全面開所となった施設です。施設内の視察や入所が決まっているロボット開発会社の「メルティン」と意見交換を行いました。

ロボットが日常生活に存在する時代はすぐそこまで来ていることを感じるとともに、その拠点として南相馬市に世界の英知が集積されるために必ず成功させなければならぬと再認識しました。

6月定例会後から9月定例会 までの議会活動について

令和2年 6月26日	議会改革検討特別委員会 (市役所4階 委員会室)
7月7日	広報特別委員会(市役所4階 委員会室) 総務生活常任委員会閉会中調査活動 (市役所4階 議員控室)
7月13日	議会改革検討特別委員会 (市役所4階 委員会室)
7月14日	広報特別委員会(市役所4階 委員会室)
7月16日	広報特別委員会(市役所4階 委員会室)
7月20日	建設経済常任委員会閉会中調査活動 (市役所4階 議員控室)
7月22日	議会全員協議会(市役所4階 議場)
7月29日	会派代表者会議(市役所4階 委員会室)
7月30日	会派代表者会議(市役所4階 委員会室)
7月31日	議会運営委員会(市役所4階 議員控室) 議会全員協議会(市役所4階 議場) 臨時会(本会議)(市役所4階 議場) 議会全員協議会(市役所4階 議場) 議会改革検討特別委員会 (市役所4階 委員会室)
8月4日	議会運営委員会(市役所4階 議員控室)
8月6日	議員研修会(市役所4階 議場)
8月18日	議会改革検討特別委員会 (市役所4階 委員会室)
8月19日	文教福祉常任委員会閉会中調査活動 (市役所4階 議員控室)
8月25日	議会全員協議会(市役所4階 議場)
8月28日	議会運営委員会(市役所4階 議員控室)
9月2日	9月定例会 開会
9月17日	9月定例会 閉会

【議員研修会】

「地方議会改革と議員定数、議員報酬」

講師…東北大学情報科学研究所

河村 和徳准教授

現在、議会改革検討特別委員会において「望ましい議員定数と議員報酬」について協議中であることから、8月6日に東北大学の河村准教授をお招きし、全議員の見識を高めるため講演を拝聴した。



【議員間討議】

議員間討議とは・・・南相馬市議会基本条例第13条第2項の規定に基づき実施するもので、結論を導き出すためではなく認識を共有するための自由な討議。

(議員間の討議)

第13条 議会は、言論の場であることを十分に認識し、議員相互間の自由な討議を中心に運営されなければならない。
2 議会は、本会議及び委員会において、議案の審議及び審査に当たり結論を出す場合にあっては、合意形成に向けて議員相互間の議論を尽くすよう努めるものとする。

日時…令和2年8月25日
議題…常任委員会における
提出書の提出について
申出者…岡崎 義典議員
討議の論点…常任委員会
の活動を活性化させる
中で、提言書を執行部
に提出する場合、議会
として議長名と連盟で
提出するべきなのか、
常任委員会単独で提出
することも検討するの
かを議論したい。

日時…令和2年9月9日
議題…予算決算常任委員
会について
申出者…岡崎 義典議員
討議の論点…現在の一般
会計の審査方法は議案
不可分の原則に反して
おり、さらに予算と決
算を同一議員が審査す
ることでチェック機能
が強化される予算決算
常任委員会の設置につ
いて議論したい。

議会における新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として議会では、以下のような対策が行われています。

- ① 一般質問における議員の質問時間を40分から30分に縮小。(6月定例会より)
- ② 扉を常時開放。(6月定例会より)
- ③ 議会・執行部においても座席の間隔を開ける。(6月定例会より)
- ④ 演壇並びに一般質問用の質問席にアクリル板を設置した。(9月定例会より)



12月の定例会(予定)

- 11月30日(月)
本会議…会議録署名議員の指名・会期の決定・諸般の報告・委員長報告(質疑、討論、表決)・正副議長の辞職及び選挙・議会運営委員及び各常任委員の選任・議案の提出及び説明
- 12月3日(木)・4日(金)・7日(月)
本会議…一般質問
- 12月8日(火)
本会議…議案に対する質疑、委員会付託
- 12月9日(水)
常任委員会…総務生活、文教福祉、建設経済
- 12月16日(水)
本会議…委員長報告(質疑、討論、表決)

※この日程は変更されることがあります。

本会議は原則午前10時に開会します。議会を傍聴する際には、日程をご確認の上、市役所本庁舎4階までお越しください。

●問い合わせ…議会事務局 ☎24-5311

市議会ホームページ・議会インターネット中継をご覧ください

市議会のホームページには、市議会の概要や本会議情報、議員名簿、会議録(本会議)などを掲載していますので、ご覧ください。

また、議会の様子を広く市民の皆さんにお知らせするため、本会議のインターネット中継を実施しています。インターネット中継では、生中継と録画配信(本会議のおおむね5日後)でご覧いただけます。あわせてご覧ください。

下記のアドレスから市議会へアクセスしてみてください。

南相馬市ホームページ

<http://www.city.minamisoma.lg.jp/>

○請願・陳情の提出をされる方へ：次回の12月定例会においては、11月20日(金)午後4時までに提出してください。

広報特別委員会



田中 一正、菊地 洋一、渡部 一夫、岡崎 義典、大岩 常男、高橋 真

編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大により、私達の生活スタイルは大きく変わりました。常にマスクを着用し、人と接することを極力避けながらの生活はこれまでにないものです。在宅時間の拡大等によって感染症拡大は一時減少したものの、果敢もより状態の生活は息苦しさやストレスを感じます。社会はコロナ禍・ウィズコロナ・アフターコロナ等聞きなれない言葉をつくり、新型コロナウイルスと共に生きる社会を作り出そうとしています。新型コロナウイルス治療薬・ワクチンが一刻も早く開発され、普通の感染症となることを願うばかりです。

1918年全世界にパンデミックを引き起こしたスペインかぜは沈黙化するのに2年あまり要しました。このスペインかぜから学ぶことは、流言飛語と考えます。確証のない噂話が独り歩きし、人を傷つけます。現代は噂話ばかりでなく、SNS等での噂拡散は目を覆うばかりです。感染症に対する治療薬は出来ても、流言飛語を治める薬はありません。私達一人一人が注意することと考えます。 菊地 洋一

議会傍聴記

議会を傍聴して

(原町区/高島 嘉一さん)

ピーンと張りつめた空気の中10時開始のベルが鳴り今村議長の一声より一般質問が始まります。今日は12番議員の一般質問に耳を傾けてみました。「水害対策について」と「本市の人口減少対策について」です。以前私も行政区長を経験しました。昨年の東北地方に甚大な被害をもたらした東日本台風。今もはっきり覚えています。太田川が氾濫し決壊し多くの方が避難を余儀なくされました。しかし残念ながら太田地区には安全安心を確保できる避難場所がありません。いつまた来るかわからない自然災害に備え早急な対策が必要だと思いました。

「本市の人口減少対策について」この問題も本市において決して避けて通ることのできない課題だと思いました。モデル地区として北海道の厚真町の取組を説明されました。着実に成果を上げているようです。本市も高齢化が進む中、将来を見据えて子育て世代の移住問題、安心して生活できる環境作りまちづくり、とても大事です。手をこまねいてはいられません。できることから少しずつ前に進める。このことが門馬市長が掲げる100年のまちづくりに繋がっているのではないのでしょうか。

議員の方々が一丸となって市政に立ち向かう姿に改めて感動しました。